



県が明石公園（明石市）の明石城石垣周辺などで進める樹木の伐採について、同市の植物研究者らでつくる市民グループが、作業の中止などを県に働き掛けるよう求める要望書を泉房穂市長宛てに提出した。

同公園では明石城の石垣と2基の櫓が見通しやすくなるように、県が2018年から伐採に着手。県によると、これまでに約1900本の木が伐採されてい

る。市役所で29日、「明石公園の自然を次世代につなぐ会」の代表で県植物誌研究会の小林禱樹さん（79）＝同市朝霧南町4＝らが要望書を泉市長に手渡し、伐採の中止、自然や生態系の保全を訴えた。小林代表は「明石にとって大切な公園。切る必要のない木も切られ、希少な自然が失われている。市民や複数の有識者の意見を聞くべきだ」と話した。

これに対し、泉市長は「市民からの声もあり、県は一度立ち止まつて計画を見直すべきだと思う。県と今後協議していきたい」と述べた。（川崎恵莉子）

## 市民グループが要望書

市長に提出

「明石公園の樹木伐採見直しを」

泉房穂市長に要望書を手渡す「明石公園の自然を次世代につなぐ会」のメンバーら＝明石市役所